



愛川ふれあいの村4月の風景

平成26年 4月 自然のたより

村には開花時期が違うサクラが数種類あるため、長くお花見を楽しめます。モモの花や小さな花も春の暖かさに誘われて咲きました。チョウチョが花の上を飛び、クモの姿を見ることも多くなり、春を感じさせてくれます。新緑が芽吹いた樹木から鳥のさえずりが聞こえ、村内には賑やかな雰囲気漂っています。



木の上で休んでいるオオルリ



サクラの蜜を舐めるメジロ



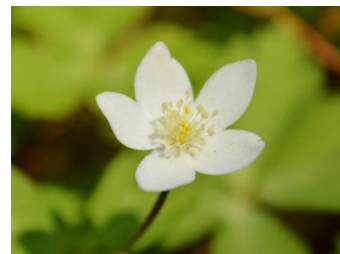
葉の裏に隠れるコハナグモ



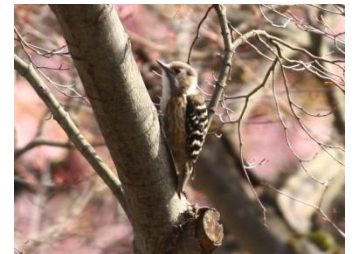
色鮮やかなツバキ



タチツボスミレ



ニリンソウ



ドラミング中のコゲラ



羽をくわえているスズメ



ウラシマソウ



フデリンドウ



オトシブミ



つつじ



ヤエザクラ



枺らの木にとまるヒトドリ



可愛らしいボケの花

★ニホントカゲの保身術★

山野草園の石積みの間からトカゲが顔を出しました。

山野草園に行ってみると、石の間からガサガサと音がしました。じっと待っていると細長くテカテカした茶色い体が姿を現しました。

トカゲは冬、日当たりの良い斜面や地中で冬眠し、春になると地表に出てきて、活発に動き回ります。捕まえようとしても動きが素早いので、なかなか捕まえることができません。敵に襲われそうになったときには、尾を自ら切り、身を守りまです。切った尾はしばらく動くので、敵の注意を引いている間に逃げるすることができます。自分の身を切り捨ててまで、生きる姿に感動です。トカゲを見つけたら、そっとしておいてあげましょう。



★トゲアリの不思議な生態★

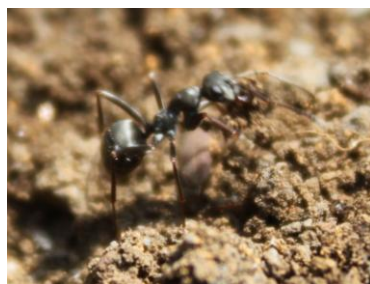
バーベキュー場の柿の木にトゲアリがいました。特徴は「トゲ」で背中に8本生えています。主に木の腐った部分に巣を作りますが、群れを作る際、仲間のふりをしてクロオオアリなどの巣を乗っ取ります。背中のトゲは他のアリの巣に忍び込んだ時、自分の身を守る為にあるようです。

しかし、この威厳のある見た目と他人（他蟻？）の巣を乗っ取る、という生態からは想像できないほど動きはゆっくりで、指でつついたりつまみ上げたりして慌てさせても動きはゆっくりなまま…。不思議なアリです。

一見、謎の多いトゲアリですが、たくさんの人たちの観察や研究によって、トゲの由来や巣の乗っ取りの訳など、その生態は徐々に分かっています。ゆっくりとした動きの理由など分かっていない事もありますが、このような謎に自分なりの仮説を考えて観察をするのも楽しいです。



▲トゲアリ



▲クロオオアリ



発行者：神奈川県立愛川ふれあいの村

TEL：046-281-1611

HP：<http://fureai-aikawa.com/>

写真：吉田文雄・大瀧裕基子・天野智裕

文章：大瀧裕基子・天野智裕 イラスト：葉青芳

編集：葉青芳・大瀧裕基子・吉田文雄



愛川ふれあいの村
で、検索★